

事業仕分けにおける平成21年度までの一般会計当初予算への反映状況(総括)

単位=千円

H19年度事業仕分けによるH20年度予算削減額	3,205	
H19年度事業仕分けによるH21年度予算削減額	25,944	
H20年度事業仕分けによるH21年度予算削減額	4,567	
平成21年度予算までの削減累計額	33,716	
【詳細】		
・ 政策形成研究旅費支給事業	100	} H19年度事業仕分け によるH20年度予算 削減額
・ コピー機・印刷機借上業務	924	
・ 観光情報発信事業	1,100	
・ 亀山市防火協会事業	20	
・ 私立高等学校振興助成事業	1,061	
・ 優良職員等表彰の記念品削減	155	} H19年度事業仕分け によるH21年度予算 削減額
・ 特定業務職員健康診断の対象者見直し	484	
・ 防火協会補助金の段階的縮小	20	
・ 公園の公募による指定管理者制度 への移行	2,200	
・ 文化会館及び中央コミュニティセンターの 公募による指定管理者制度への移行	5,750	
・ 関総合スポーツ公園公募による 指定管理者制度への移行	17,335	} H20年度事業仕分け によるH21年度予算 削減額
・ 霊柩車配車・祭壇貸出廃止	1,778	
・ 図書館のリバイバル映画会の廃止	250	
・ マイクロバスの運転手を正規から 臨時へ転換	2,539	

■サービスの向上を図った事業

- 外国人向け広報の発行
- ノザル等有害鳥獣の駆除数増（年間60頭から80頭に増）
- PR強化のため、指定文化財のパンフレットを増刷
- 環境パトロールを週2回から週3回に回数増
- 現在、非公開の文化財を公開するための臨時職員の配置等

■事業仕分けの結果は、3～5年間モニタリングすることになっており、数年たってから効果が現れるものもあります。

例) 前納報奨金の廃止（H19仕分け、H22廃止の方針、削減額約15,000千円）

■判定結果や委員からの助言は、計画、指針・方針等を見直すきっかけとなり、参考とすることができました。

■職員の気づき喚起（意識改革）、事業に対する市民理解（透明性確保）などの成果がありました。